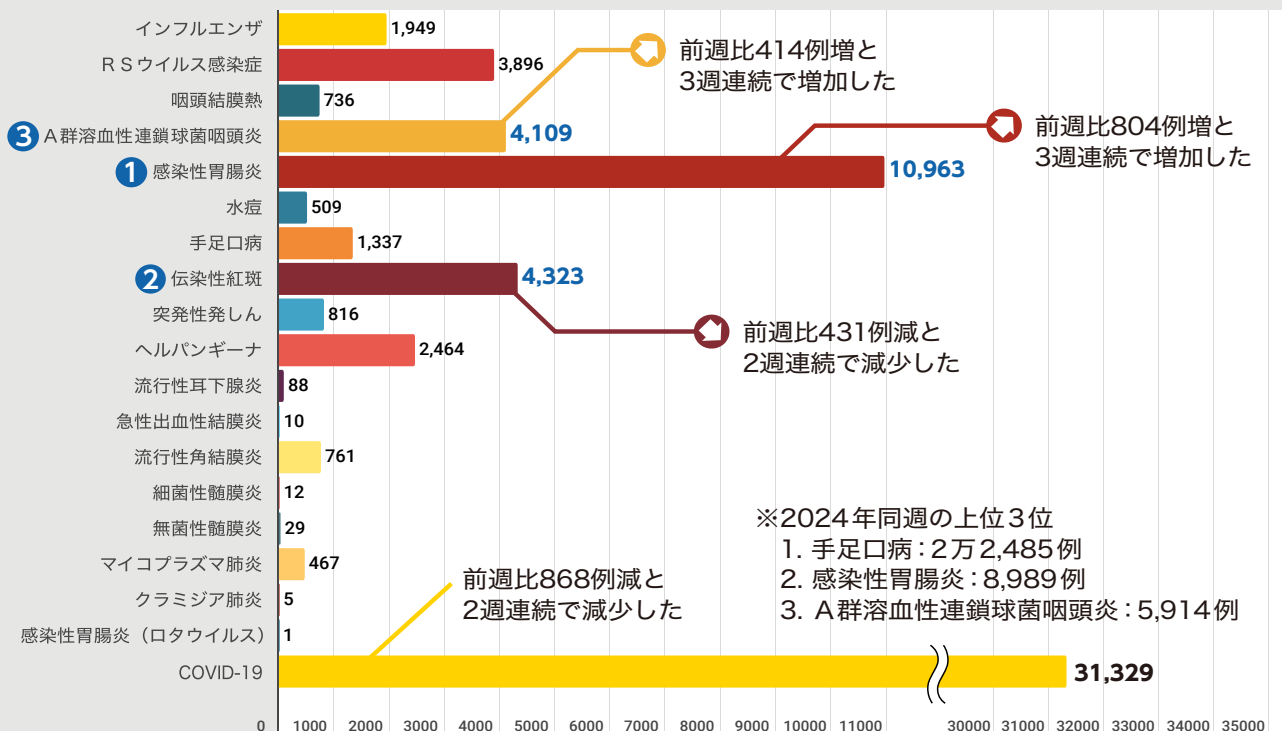




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

RSウイルス感染症が増加、4,000例に迫る

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,280例
2. 大阪府: 712例
3. 埼玉県: 627例

定点当たりの報告数(4.66)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 島根県: 9.00 | 4. 宮崎県: 7.40 | 7. 岐阜県: 6.26 | 10. 福岡県: 5.76 |
| 2. 大分県: 8.39 | 5. 石川県: 7.25 | 8. 福井県: 6.16 | 11. 香川県: 5.73 |
| 3. 群馬県: 7.60 | 6. 岩手県: 6.93 | 9. 熊本県: 5.94 | 12. 新潟県: 5.67 |

② 伝染性紅斑

報告数

1. 大阪府: 339例
2. 愛知県: 325例
3. 福岡県: 271例

定点当たりの報告数(1.84)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 佐賀県: 7.00 | 4. 宮城県: 4.65 | 7. 長崎県: 3.55 | 10. 和歌山県: 3.00 |
| 2. 山形県: 5.38 | 5. 秋田県: 4.08 | 8. 愛媛県: 3.50 | 11. 福井県: 2.92 |
| 3. 大分県: 5.17 | 6. 福岡県: 3.87 | 9. 愛知県: 3.22 | 12. 鹿児島県: 2.87 |

※その他、14県が警報基準値(2.00)超え

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 441例
2. 埼玉県: 308例
3. 大阪府: 247例

定点当たりの報告数(1.75)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 愛媛県: 5.40 | 4. 福岡県: 3.14 | 6. 京都府: 2.93 | 10. 宮崎県: 2.60 |
| 2. 鳥取県: 3.79 | 5. 栃木県: 2.96 | 8. 大分県: 2.86 | 11. 山口県: 2.55 |
| 3. 茨城県: 3.16 | 6. 富山県: 2.93 | 9. 埼玉県: 2.77 | 12. 新潟県: 2.33 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は前週比804例増と3週連続で増加した。伝染性紅斑は前週比431例減と2週連続で減少し、定点当たりの報告数が警報レベル(2.00)を超えた地域は、前週の30道府県から26県(佐賀県、山形県、大分県、宮城県、秋田県、福岡県、長崎県、愛媛県、愛知県、和歌山県、福井県、鹿児島県、奈良県、岐阜県、宮崎県、島根県、熊本県、三重県、新潟県、滋賀県、石川県、群馬県、兵庫県、福島県、広島県、富山県)に縮小した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は前週比414例増と3週連続で増加した。COVID-19は前週比868例減と2週連続で減少したが、依然3万例を上回っている。定点当たりの報告数は、宮崎県(17.29)、長崎県(13.90)、大分県(13.88)、山口県(13.79)、鹿児島県(13.75)、愛媛県(13.70)と九州地域を中心に多く、その他11県で10を上回り、23府県で7以上だった。RSウイルス感染症は前週比883例増と3週連続で増加し、4,000例に迫った。